

# 町に美術

写真を撮り始めて十四年くらい。主に自然とか風景を撮ってきました。今は仕事が多忙で庭の花など撮っていますが、難しいですね。美術協議会ではフルに参加して、町のアピールをやっています。また、写真を通じて、人と人の輪を広げたいとも思っています。それに美術関係というものは、後継者がいないと伸びないのです。底辺を広げることです。また協議会の外の人の意見も聞いて活動すれば、町の文化全体の向上にもつながるのでは。

坂井 俊文さん (鳥取県 34歳)

美術協議会にはフルに参加し、町のアピールや底辺の拡大を

若いころから老後は絵を描くのを楽しみにしようと思いましたが

今は洋画を描いていますが、いずれは日本画をメインにしようと思っています。洋画はその勉強のためですね。二十代から、年を取ってからも絵を描くのを生きがいにしてやろうと思っていました。今や心のゆとりを求める時代、年々その考えが間違っていないかと実感しています。黒塚には写真などにくらべ絵を描く人が少ないようです。ですから、美術協議会の活動を通じて、絵を描く人がもっと多くなって底辺が広がれば、と思っています。仲間が増えれば、お互いに伸びますしね。

## 町美術協議会の会員に聞く



外川 清さん (香取県 48歳)

1990  
**7**  
No.322

# くさき

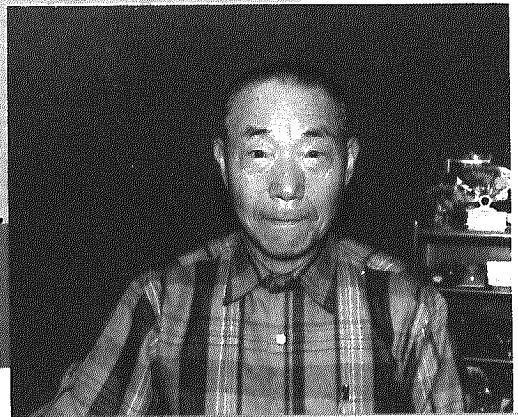
あなたとくさき町をつなぐ  
**広報**

## の風を

写真仲間にも勧められて県展に初めて出したら、入選してしまいました。JC美術展などにはよく出していたのですが、写真はボケ防止にいいかもしれないと思いついてやっています。しかし、県展に入選したこと、さらに自分の技術を高めてよい作品を作りたい、というふうに着目も変わってきました。そんなわけですから、美術協議会でこんな活動をしたいとか、そういう考えは今はありません。まず何よりも、よい作品を作るようにがんばりたいと思っています。

よい作品が撮れるように、これからも研究しがんばりたい

藤橋 義次さん (山形県)



協議会では自分の分野以外の人たちとの交流に期待しています

長谷川 八重子さん (興野二区 48歳)

家庭や仕事が忙しいので、美術協議会の会合にいつもちゃんと出られるかどうか...でも、写真・絵画・工芸などの人たちとの交流には期待しています。どの分野も目的は同じ、美だと思えますが、書道以外の分野の人たちとの交流で、また別な見方が得られるかもしれない。美術は、好きにならなければ身につかないと思います。ですから、美術の好きな人たちに特に子供たちに、上手下手に関係なく、気楽に参加して学べるような場をもうけられませんか、と思っています。

## 黒崎町美術協議会が発足 (6ページに記事)

